



JTSU-E
八地申
第11号
7月7日
申し入れ

相模湖～高尾間で発生した架線金具不良による パンタグラフ破損に対する申し入れ

2020年6月17日、各留置箇所に入区したE353系（松本車両センター所属）のパンタグラフの主スリ板に傷や割損が発見され、翌6月18日の午前中は全ての特急列車が運休となりました。6月18日昼間の徒歩巡回において、中央本線上り線相模湖～高尾間の小仏トンネルにて特殊曲線引装置が折損していることを発見し、復旧作業を行い13時30分頃に運転再開しました。



この間、2019年3月16日中央線八王子駅構内にて、同年4月22日五日市線武蔵引田～武蔵増戸駅間にて架線切断が発生するなど、架線に纏わる事象が相次いで発生しています。架線切断やパンタグラフの落下など重大な事故に繋がり兼ねない事象であり、早急に背後要因を含めた原因究明を徹底し、再発防止を図り安全な鉄道を再構築しなければなりません。

したがって、下記の通り申し入れを行いました。

—申し入れ項目—

1. 今事象の時系列及び原因を明らかにすること。また、特急列車のみを運休とした根拠を明らかにし、今後の対策を示すこと。
2. 当該特殊曲線引装置の設置・検査履歴及びメンテナンス体制について明らかにすること。
3. 同種特殊曲線引装置を設置している箇所を明らかにすること。

**原因究明の徹底と万全な再発防止対策を行い、
安全第一の輸送サービスを実現しよう！**